100名企業の飲酒運転防止体制、どっちを選ぶ？

	小型の簡易アルコールチェッカーを使用するモデル		従業員100人モデル スターターパック	
	内勤者 95 人	外勤者・出張者 5 人	内勤者 95 人	外勤者・出張者 5 人
測定タイミング	出勤時測定	運転前・運転後	出勤時測定	運転前・運転後
目的	通勤事故予防・ 深酒予防・健康管理	業務運転事故予防・ 道交法施行規則対応	通勤事故予防・ 深酒予防・健康管理	業務運転事故予防・ 道交法施行規則対応
点呼	点呼不要	点呼必要	点呼不要	点呼（会話）必要
チェック義務	義務ではない	義務	義務ではない	義務
現場の流れ	95 人が X 個のハンディ型 （電池式）の電源を毎回入れ測定	5 人が簡易チェッカーを持ち 電話で報告する	多人数測定対応型の アルコール検知器で飲酒チェック ↓ 結果は自動送信 ↓ 出勤打刻して業務開始	遠隔地スマホ接続型の アルコール検知器で飲酒チェック ↓ 結果は自動送信 ↓ 電話をかけて出発 これから出発します！
初回コスト	例 20個必要とした場合 1万円×20個＝20万円 1 個で運用：1 万円 ／ 10 個で運用：10 万円 ／ 100 個で運用：100 万円	例 5個必要とした場合 1万円×5個＝5万円	多人数測定対応型 35万円 ＋ 遠隔地スマホ接続型 35万円 1人あたり 7000円	
アフターメンテナンス	1年保証の場合（故障等での買い換えも含む） 1 個で運用：1 万円 ／ 10 個で運用：10 万円 ／ 100 個で運用：100 万円		校正・保守契約 15 万円／年 期限管理は当社が行います	
管理	管理する場合はそれぞれ報告されたデータを集約して記録を残していく		総務で 100 名のアルコールチェックをもれなくモニタリング！ ※Windowsアプリまたはクラウドアプリ使用	